

学習だより

令和5年12月

真岡市立中村小学校

学習指導部

No.8



うさぎ年の令和5年も早いものであとわずかとなりました。家庭学習では、予習、復習、調べ学習等、数多のジャンプができたことと思います。

さて、「家庭学習振り返りカード」に「予習はしましたか」という項目がありますが、どうでしょう。予習はしていますか？…といっても「予習って意味あるの?」「予習って言われても何したらいいのかわからない…」と思った方も少なくないかもしれません。

そこで今回は、学校の授業の内容がよくわかる、効果的な予習の仕方について御紹介します。冬休みにぜひ挑戦してください。

1 なぜ予習をするのか？予習がもたらす効果

そもそも予習をする目的は、授業の内容を効果的に理解するためです。何もせずに授業に臨むと、その時初めて聞く内容をその場で理解しなければなりません。一人一人の疑問点や理解できないことを一つ一つ質問し答えてもらうことは、大勢の授業ではなかなか難しいことです。

しかし、あらかじめ目を通し勉強しておくこと、授業内容に興味をもち、事前に疑問点を整理しておくことができます。予習をすると授業の内容を学ぶのは2度目となり、復習にもなって頭に入りやすく集中力も高まります。より深い理解を得られ学力アップも期待できます。



2 予習の効果的な勉強の仕方



授業を有意義に受けられるかどうかは、学力に大きな差をもたらします。その授業で最大限に学習効率を高めるため、まず予習すべきこと…それは、「わかること」と「わからないこと」をはっきりさせることです。予習で重要なのは、自分がどの部分を理解できないのかを知ることです。わからないことを調べ勉強するのではなく、授業の前段階の作業として「見つけること」を目的とした学習が効果的です。疑問点が明確になると、授業内容を理解しようとする

姿勢が変わります。

知りたいという気持ちで授業を受けると、好奇心が旺盛になって集中力も高まり、記憶の定着にもつながります。

3 予習→授業→復習のサイクルは最強です

このようにして予習の段階で自分の課題や疑問点を探し、それを授業で明らかにし、さらに復習することで定着させる。この予習→授業→復習というサイクルは、やはり最強です。勉強の仕方を身に付けて、成績をぐんぐんと伸ばしていきましょう。



いよいよ本格的な冬が到来し、街が華やかに包まれる季節となりました。この一年、様々なことに走り続けた皆様に心からの敬意を込めて。今年もお疲れ様でした。どうぞ御自分を大事に。素敵な冬をお楽しみください。